

暗号資産取引の現況

— 証拠金取引金額が現物取引金額を3年ぶりに上回る —

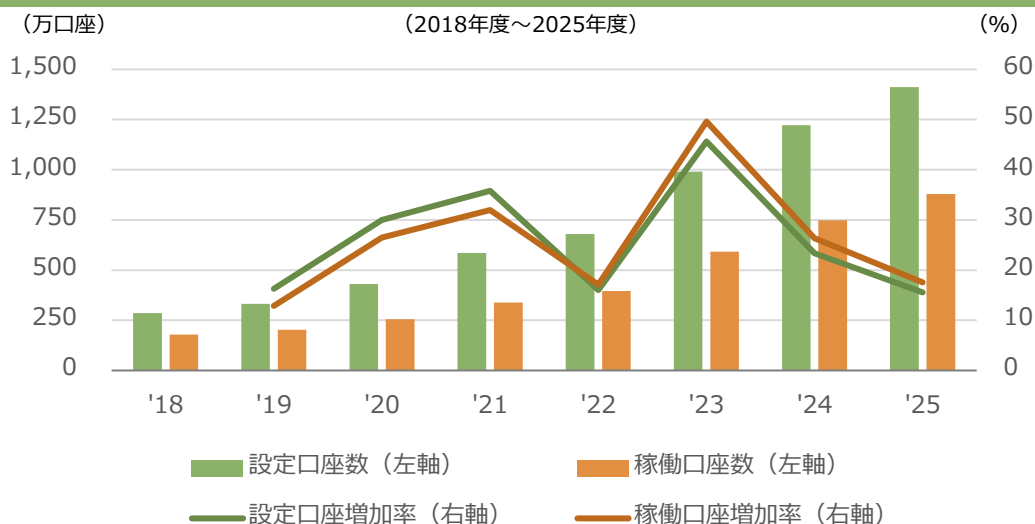
- ・本レポートは『資産形成白書2026』の補足・深掘り・アップデートを主な目的としています。
- ・本レポート単独でもご利用できますが、『[資産形成白書2026](#)』も合わせてご覧いただくと幸いです。

2026年5月18日

暗号資産取引口座数：設定口座数・稼働口座数とも増加傾向

- 2025年度の設定口座数は前年度比190万口座（16%）増加し、1,412万口座となりました。2024年度と比較して増加ペースは鈍化しました。
- 一方、稼働口座数は前年度比131万口座（18%）増加し、879万口座となりました。設定口座数と同様に増加ペースは鈍化しました。

暗号資産利用者口座数と増加率の推移



- ※ 設定口座数：口座開設手を終えて取引を行うことができる口座数
- ※ 稼働口座数：当月に取引が行われた口座または残高を有する口座数
- ※ 増加率は2019年度以降の対前年比増加率を記載

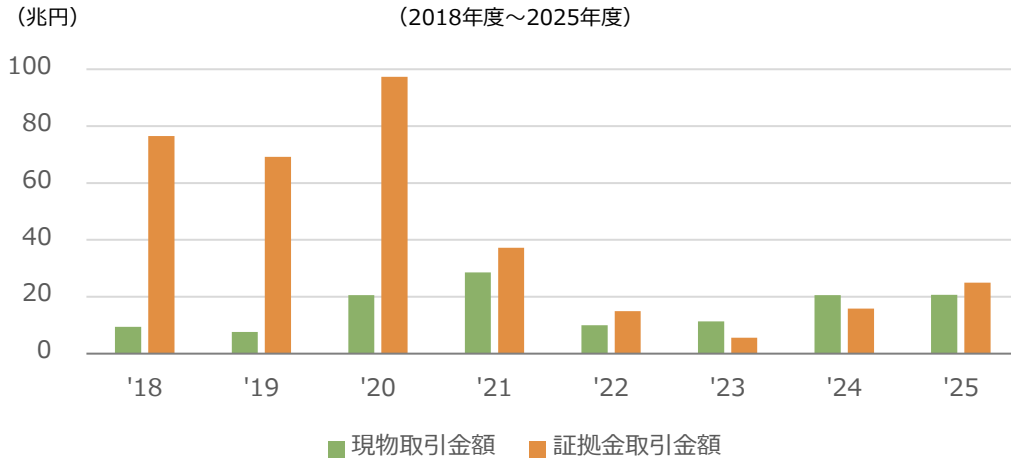
(出所) 日本暗号資産等取引業協会「暗号資産についての年間報告」「暗号資産取引月次データ」

- ※ 暗号資産に関して、本稿執筆時点で「金融商品取引法及び資金決済に関する法律の一部を改正する法律案」が国会に提出されています。同法案では暗号資産取引に係る規制を資金決済法から金融商品取引法へ移管することが定められています。これにより一定の要件を満たした暗号資産取引は、株式などの有価証券取引に類した取り扱いとなる見込みです。また、同法案の成立・施行を前提とした税制改正がすでに決定されています。そこでは、一定の要件を満たした暗号資産取引については、その利益への課税方式が現在の総合課税（最大税率55.945%、復興特別所得税含む）から分離課税（税率20.315%、同）に変更される予定です。

暗号資産取引高：証拠金取引金額が増加

- 2025年度の現物取引金額は前年度比ほぼ横ばいでしたが、証拠金取引金額は前年度から57.7%増加し、3年ぶりに現物取引金額を上回りました。

暗号資産取引高



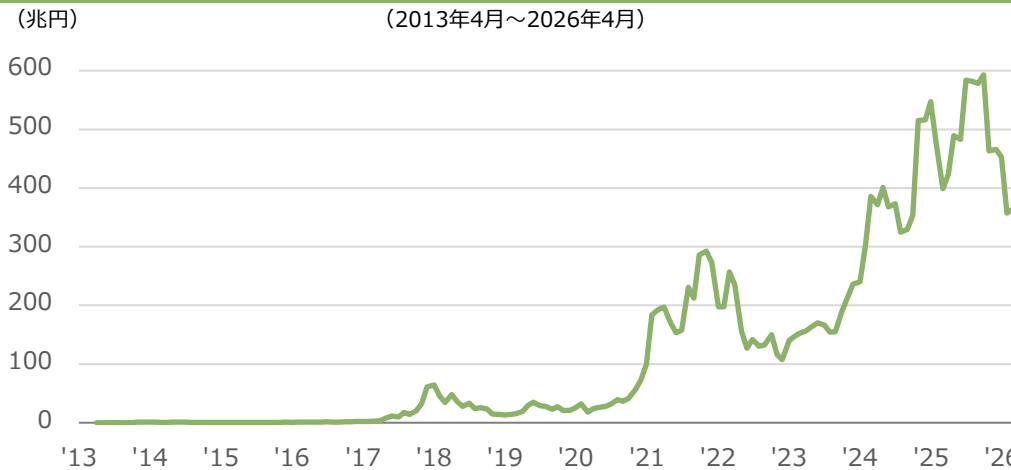
- ※ 2022年度は一部の会員のデータを含んでいない月が存在
- ※ 証拠金取引については想定元本ベース

(出所) 日本暗号資産等取引業協会「暗号資産についての年間報告」「暗号資産取引月次データ」

暗号資産時価総額：2026年にかけて減少

- 時価総額は2025年後半に日次では600兆円を超える局面も見られましたが、2026年2月にかけて減少しました。

世界の暗号資産時価総額の推移



- ※ <https://coinmarketcap.com/ja/charts/>より作成
- ※ データは月次で、各月最終月曜日の値

(出所) CoinMarketCap「Crypto Market Cap」

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。